

地域包括ケアシステムって？

高齢者が、住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に提供できる体制を言います。

地域包括ケアシステムを進めるため、各分野で様々な取り組みを進めています。団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）までに構築する必要があります。



地域包括ケアシステムのために地域は何をすればいいの？

→まずは、話し合いの場をもつこと

地域にどんなサービスやどんな助け合いのしくみがあれば、年をとっても安心して暮らしていけるのか、また年をとっても元気で生きがいを持って暮らしていくにはどうしたらいいのか、そのために地域はどんなことができるのかを検討してみましょう。

→地域に既にある資源を生かして、できるところから始めてみる。

例えば、地域の茶の間、体操の会、ゴミ出しなどちょっとしたお困りごとの支援、高齢者への訪問活動（友愛訪問）など、地域の助け合いにつながる活動を地域の特性に合わせて始めてみましょう。



支え合いのしくみづくり推進員にはどんな時に相談すればいいの？

→「こんなしくみがあったら助かるなあ」「支え合いの地域づくりについて知りたい」「なにかやってみたい」と思ったときにご相談ください」

- ・地域包括ケア、支え合いのしくみづくりについて説明に伺います。
- ・地域での福祉活動「茶の間・友愛訪問・助け合いの活動をはじめたい、やっているけど問題がでてきた」等のご相談にのります。
- ・地域での話し合いの場に出向き、話し合いのお手伝いをします。

😊 いつでも地域へ出向きますので、声をかけてください。 よろしくお願いたします！ 😊

地域のみなさま こんにちは

坂井輪・五十嵐圏域

支え合いのしくみづくり推進員



社会福祉法人坂井輪会

すずき ゆり
鈴木 由理

と申します。

よろしくお願いたします！

坂井輪・五十嵐圏域協議体事務局

新潟市西区寺尾上6-17-23

道場山穂波の里 4F

TEL:025-211-8084

FAX:025-211-0620



「支え合いのしくみづくり推進員」とは

地域に住む一人ひとりが自分らしく住みなれた地域で暮らせるように、

困ったときには「助けて」と言える地域になるように、人と人をつなげ、

地域の助け合いの輪をつくるお手伝いをします。

地域の皆さまと行政、専門職等と連携し、一緒に活動していきます。



まずは 地域で話し合いから

たとえば

自治会役員のみなさんのあつまりで

民生・児童委員のみなさんの集まりで

老人会・老人クラブの集まりで

趣味のサークル、お茶の間、教室などの集まりで

年齢も性別も問わず、

地域について話し合いの場を、

機会をもってみませんか？



話すテーマは

これから先、どこでどうやって暮らしていこうかな？

私たちが暮らしているまちはどんなまち？

これからもずっと、安心して暮らしていけるかな？

今、どんな支援のしくみがあるのかな？ など、身近なところから

大切なのは、顔を合わせて話し合うことです



支え合いのしくみづくり推進員は
地域包括ケアや支え合いのしくみづくり
についての説明、学ぶ場づくりから、
話し合いの場づくり、テーマ設定なども
お手伝いしていきます。

ぜひ話し合いに加えてください！！

認知症サポーター養成講座

医療と介護のおきがる座談会

地域包括支援センター主催の勉強会

「たすけあい体験ゲーム」

などの活用もご提案します

地域で集まりの場をもつこと

地域のみなさんで話し合うことから

支え合いのしくみづくりを始めましょう

